

平成30年度 岡崎小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

別紙1-2

校長名 岩本浩志 作成日 平成30年 5月 8日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学力の定着・向上
- 友だちと仲良く過ごせる学校
- 規範意識の向上
- 保護者・地域との連携を深める

【学校教育目標】

強いからだと豊かな心を養い、最後までよく考え、意欲的に生きる子どもの育成

【めざす児童像】

- ・豊かな心 (思いやりのある子)
- ・考える力 (かんがえる子)
- ・実践する姿 (さきに行動する子)
- ・強い心とからだ (きたえる子)

前年度の学校評価

- 教員同士が、お互いの良さを取り入れながら授業改善ができています。
- 優しい気持ちが醸成されつつある。
- 基礎学力の定着について、さらに取り組む必要がある。

児童の実態

- 素直な態度で行動できる
- 下級生を思いやる気持ちが育っている
- 学力の定着に課題がみられる
- 自分の考えや思いを伝える力が弱い

重点目標	確かな学力の向上 ◎知識及び技能の習得 ◎子どもを主体とした、授業の推進 ◎思考力・判断力・表現力の育成 ◎基本的生活習慣の定着	豊かな心の育成 ◎道徳教育を柱とした教育活動の充実 ◎人権意識を高め、自他共に大切にす る教育の実践 ◎仲間づくりの実践	健やかな体の育成 ◎「早寝・早起き・朝ごはん」の定着 ◎体力向上の推進	地域とともにある学校 ◎家庭・地域との連携を深める ◎地域人材の活用	◎…特に重点的に取り組むこと
	○「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を図る。 ○学習タイムや放課後フォローアップを活用して、基礎学力の定着を図る。 ○校内研究授業を柱に、授業交流や公開授業を行い授業力向上を図る。 ○「家庭学習の手引き」をもとに、保護者の協力のもと定着を図る。	○「特別の教科道徳」の研究授業を行う。特に、子ども達がしっかり考え、話し合う活動を大切にす にする。 ○縦割りグループを積極的に活用し、仲間づくりに繋げていく。 ○授業での学びを実生活と結びつけていけるよう、指導方法の工夫を行う。	○和歌山県チャレンジランキングの活用 ○「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについて、お便りや懇談を通じて啓発を行う。 ○縦割り活動を活用して、運動の要素を取り入れた活動を計画したり、休憩時間を利用して積極的に外で遊ぶように働きかけたりしていく。	○学校便りやホームページを活用して、学校の情報(教育活動、学校行事、不審者情報等)を公開していく。 ○地域ボランティアやゲストティチャーに来ていただけるよう、学校から呼びかけを行い、人材の確保に努める。	
	○全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査で、特に基礎で平均値を目指す。 ○宿題の提出率、90%以上を目指す。	○道徳の授業が「楽しい」「よくわかる」児童90%以上を目指す。 ○縦割りでの活動を、昨年度より増やす。	○毎日朝ごはんを食べてくる児童95%以上を目指す。 ○体力テストの平均値、全国平均以上を目指す。	○保護者へのアンケートで、「教育活動や子どもの様子を分かりやすく知らせている」について90%以上を目指す。 ○地域先達等、学校に来ていただく人数増を目指す。	